

# 「街と人を支える 建設技術展」



テープカットの様子

東京土木施工管理技士会では、去る2月13日（水）から15日（金）までの3日間、建設業の信頼回復とイメージアップを目的として、(社)東京建設業協会と共催で「建設技術展示会」を開催した。

新宿モノリスビルで開かれたこの展示会は、「街と人を支える力」をテーマに、広く一般の方々に、安全で安心・快適で便利な街づくりに建設業がどのような役割を果たしているかをアピールするため、国土交通省関東地方整備局・東京都都市整備局・東京商工会議所の後援、東日本建設業保証(株)・(財)建設業振興基金ほかの協賛を受け、期間中、約3,000人の来場者で賑わう盛大なイベントとなった。

開催初日のオープニングセレモニーでは、山田恒太郎会長（(社)東京建設業協会会長兼務）より、「環境と安全に配慮した技術を見ていただき、生活の中で建設業が生かされていることを感じてもらいたい」



会員企業の展示に見入る山田会長



# 「力」をテーマに 展示会を開催!

と挨拶が行われた後、来賓として国土交通省関東地方整備局吉田高樹地方事業評価管理官、東京都都市整備局金子敏夫市街地建築部長、東京商工会議所西堀誠一郎地域振興部長からそれぞれご祝辞をいただき、来賓・協賛の方々を交えてのテープカットを行った。

当日の展示会場は、「環境」「安全・安心」の2つのジャンルに展示物を大別。会員企業が保有する建設技術に関するパネルや建設構造物の模型の展示、関係する映像の放映などを行った。

出展会員企業等がそれぞれ工夫をこらした各ブースでは、一般の来場者にも「建設業がこれほど環境問題に力を注いでいるとは知らなかった」「展示物のような最新の技術がもっと広まれば、災害時でも安心して対処できる」などの意見が寄せられるなど、建設業が身近な存在であることを実感してもらうことができた展示会となった。



山田恒太郎会長



国土交通省関東地方整備局吉田高樹地方事業評価管理官



東京都都市整備局金子敏夫市街地建築部長



東京商工会議所西堀誠一郎地域振興部長

